

2016 (H28) 年度 大学院物理学専攻履修ガイダンス

日時：2016年4月1日 (金)

場所：11号棟102室

28年度教務委員 慈道 大介

jido@tmu.ac.jp

このスライドは物理教室のHPに置いてあります：

「在学生へ」 → 「大学院教務」 → 「大学院履修ガイダンス資料」

本日予定

1. **ガイダンス** (14:30-15:30)
2. **懇親会** (15:30-16:30頃まで 8号館交流スペース)
自己紹介も行いますので、全員参加です。
3. **理論図書室の説明会**
(17:00集合-17:15頃まで 8号館5階520号室)

履修などの相談窓口

1. 専攻主任 首藤啓 8号館 518室 内線3351
2. 教務委員 慈道大介 8号館 583室 内線3373

教員からの連絡方法

掲示：

物理事務室（8号館222号室）前掲示板

補助的に

- ・ 理工学系 掲示板（8号館と9号館をつなぐ渡り廊下1回）
- ・ 物理教室ホームページ <http://www.phys.se.tmu.ac.jp>
の大学院教務ページ（集中講義の案内など）

メール：

大学（情報処理施設）から提供されるメールアドレスを利用
転送設定を忘れずに

余談：メール転送設定方法

(1) 情報処理施設のサイト
(www.comp.tmu.ac.jp)で利用者
メニューをクリック

(2) 利用者メニューでログイン
→画面左側の電子メール転送設
定をクリック

The screenshot shows the TMUNER website interface. At the top, there is a banner with the TMUNER logo and the text "首都大学東京 教育研究用情報処理システムの総合案内サイト". Below the banner, there is a navigation bar with a search box and a "検索" button. A green arrow points to "はじめての方へ". A notification box contains a message from the University Education Center regarding information ethics. Below this, a section titled "重要なお知らせ" lists several announcements with dates and links. At the bottom, there are three main menu categories: "システムの利用方法", "教室・授業", and "Webメール". The "Webメール" category is highlighted with a red circle, and the "利用者メニュー【ログイン】" link is also circled in red.

TMUNER
ティ・エム・ユー・ナー
首都大学東京 教育研究用情報処理システムの総合案内サイト

お問い合わせ サイトマップ
検索

はじめての方へ

大学教育センターから情報倫理に関するお知らせ：学生は必ず一読し、リンク先の注意を守るようにしてください。

重要なお知らせ

- 16. 3.28 [【重要】年度更新対応に伴う利用者メニュー停止及び新規ID作成不可について](#)
- 16. 2.22 [【注意喚起】仮想デスクトップ環境への接続時に発生する不具合のお知らせ](#)
- 16. 2.15 [教育研究用情報システム 利用者アンケートのご案内](#)

システムの利用方法

- メール利用方法
WEBメール・メールソフト等の利用方法
- WEB利用方法

教室・授業

- kibaco
eラーニング
- パソコン教室

利用者メニュー【ログイン】
パスワード変更など

Webメール

余談：メール転送設定方法

(3) メール転送先を入力し OK をクリック

利用者情報

ユーザーID： jido

[パスワード変更](#)

[利用者情報](#)

[利用者情報表示](#)

[電子メールの転送先設定と解除](#)

[アンチウイルス申請](#)

[パスワード再設定用メールアドレス登録](#)

[ログオフ](#)

電子メールの転送先設定と解除

メール転送先 1	<input type="text" value="\jido"/>
メール転送先 2	<input type="text" value="jido@*****.ne.jp"/>
メール転送先 3	<input type="text"/>
メール転送先 4	<input type="text"/>
メール転送先 5	<input type="text"/>

転送先のアドレスを5つまで設定できます。(サーバーにメールを残さないで転送)

<サーバーにメールを残して転送する場合>

メール転送先1～5のどれか1つに、\" (半角) \" + ご自身ユーザーID を設定してください

※\" (半角) \" は、ブラウザによって、\"円記号\"や\"バックスラッシュ\"で表示されることがありますがどちらで設定しても問題はありません

※ご自身の大学のメールアドレスは入力しないでください

<サーバーにメールを残して転送する場合の設定例>

ユーザーIDが\"tmuner\"の場合

メール転送先1～5のどれか1つの項目に \"tmuner\" と入力

(注意) \"の文字は2つ (yen又はback slash)のキーのどちらでも同じ

OK

RESET

履修に関する説明 (1/4)

修了 (学位取得) 要件

修士学位：2年 (最大で4年) 30単位 + 修士論文

博士学位：3年 (最大で6年) 20単位 + 博士論文

- 注意：1) 学位論文：論文提出および最終試験 (=論文の発表と審査)
- 2) 修士学位論文 (英語または日本語)
博士学位論文 (英語)
- 3) 主要な研究成果が学術雑誌に掲載または掲載確実 (博士)
- 4) 必修科目が16単位、残りを通常授業や集中講義で取る
修士：14単位 博士：4単位

履修に関する説明 (2/4)

必修科目

修士論文、博士論文のための研究・セミナーに対して単位を出す科目
(講義はないが、大学に出てきて指導教員と研究をすることが必要)

修士課程：物理学特別セミナー、
物理学特別演習(理論系)、物理学特別実験(実験系)

博士課程：物理学特別演習(理論系)、物理学特別実験(実験系)

標準履修課程

修士1年 (理論系) :

物理学特別セミナーⅠ(前期)、Ⅱ(後期)

物理学特別演習Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)

修士1年 (実験系) :

物理学特別セミナーⅠ(前期)、Ⅱ(後期)

物理学特別実験Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)

博士1年 (理論系) :

物理学特別演習Ⅴ(前期)、Ⅵ(後期)

博士1年 (実験系) :

物理学特別実験Ⅴ(前期)、Ⅵ(後期)

**物理学特別実験・演習および物理学特別セミナーは、
標準履修課程に基づき必ず前期、後期共に申請する**

**休学・留学等で標準履修課程
から外れる場合は、指導教員・
教務委員と相談する**

履修に関する説明 (3/4)

開講科目 (平成28年度より新しいカリキュラム)

二単位科目 (分野共通の基礎科目、15コマ=[14+1]、博士課程は履修不可)

一般相対論、統計物理学、場の理論、流体力学、原子核物理学、素粒子物理学
宇宙物理学、原子物理学、物性物理学 I, II、粒子線物性、計算物理学

一単位科目 (専門分野の科目、8コマ[=7+1])

素粒子物理学特論、高エネルギー理論物理学特論、原子核ハドロン物理学特論
高エネルギー宇宙物理学特論 I, II、非線形物理学特論、統計力学特論、
量子多体系特論、超伝導物理学特論、磁性物理学特論、
物理実験学特論 A, B, C, D、高エネルギー物理学特論 I, II、原子物理学特論 I, II、
宇宙物理学特論 I, II、電子物性特論 I, II、ナノ・表界面物性特論 I, II、
ソフトマター物性特論 I, II、物質科学ミニマム特論、科学英語特論

平成28年度開講予定の集中講義

- ・ 今後講義は適宜追加の予定
- ・ 開講日時はそのつど掲示板・HPに提示（メールでも周知）
- ・ 履修は授業開始7日前までに「履修申請書」を理工学系事務室に提出

・ 神田展行氏 (大阪市立大学) 7月半ば頃
「重力波観測の基礎 (仮)」

・ 寺崎一郎氏 (名古屋大学) 7月19,20日
「酸化物強相関電子系の機能性材料」

・ 藤家雪朗氏 (立命館大学) 前期
「WKB理論の基礎 (仮)」

・ 田中耕一郎氏 (京都大学) 夏頃
「光物性物理学 (仮)」

・ 保坂淳氏 (大阪大学) 12月7,8,9日
「ハドロン物理ー基礎からエキゾチックな現象までー (仮)」

・ 鈴木隆史氏 (兵庫県立大学) 後期
「量子多体系におけるモンテカルロ計算」 **他全部で10講義程度を予定**

履修に関する説明 (4/4)

- 1) 講義科目は学期はじめに履修申請 (Web利用) 必ず登録状況を確認。
- 2) 講義科目のほとんどは2限、3限。
- 3) 修士の場合、必修16単位以外の大半 (残り14単位) を1年次にとり、2年次は研究に専念。
- 4) 「○○特論」 (8コマ、1単位) の科目は前期a、前期b、後期a、後期bの4つの開講時期がある (開講時期時間割の欄外を参照)
- 5) 他専攻や他研究科の授業は10単位まで認められる。ただし、教務委員会の承認が必要であるため、あらかじめ指導教員や教務委員と相談。
- 6) 「物理化学特別講義」は分子物質化学専攻が提供する科目。物理学専攻の学生にも単位がでる。
- 7) 学部で履修した科目を修士で再履修することや、修士で履修した科目を博士で再履修することについて：
授業担当教員に確認して、内容が異なる → 可
内容が同じ → 不可
(履修システム上は再履修できてしまうが、履修しないでください。)

平成28年度大学院授業時間割

首都大学東京 理工学研究科 物理学専攻

()内は授業番号

	① 8:50~10:20			② 10:30~12:00			③ 13:00~14:30			④ 14:40~16:10			⑤ 16:20~17:50			⑥ 18:00~19:30		
	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室
月				流体力学(前) (R104)	*佐野	11-102	粒子線物性(前) (R112)	門脇	8-304									
				素粒子物理学(後) (R106)	安田	11-301	① 超伝導物理学特論(後a) (R145) ○ (R146)	堀田	8-304									
火				物理化学特別講義Ⅱ(原子物理学)(前) (R108)	田沼	11-202	① 物理実験学特論A(前a) (R171) ○ (R172)	青木	11-103									
				○ 物理化学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅶ分子の理論と計算)(前) (R167) (R168)	波田・今村	8-302	① 物理実験学特論B(前b) (R937) ○ (R938)	門脇	11-103									
				① 高エネルギー理論物理学特論(後a) (R099) ○ (R100)	ケトフ	8-301	① 統計力学特論(前b) (R117) ○ (R118)	荒畑	8-302									
				① 高エネルギー物理学特論Ⅰ(後b) (R119) ○ (R120)	角野	8-301	① 物理化学特別講義Ⅰ(ナノ・表界 ○ 面物性特論Ⅰ)(後a) (R147) (R148)	宮田	8-300									
										① 粒子ビーム物性特論Ⅰ(後b) (R157) ○ (R158)	門脇	8-302						
水	○ 物理化学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅵ凝縮系の物理化学)(前) (R165) (R166)	加藤・菊池・野村・児玉	11-103	物理化学特別講義Ⅱ(物性物理学Ⅰ)(前) (R109)	宮田	11-102	① 量子多体系特論(前a) (R115) ○ (R116)	服部	8-304	① 原子物理学特論Ⅰ(後a) (R153) ○ (R154)	東	8-301	計算物理学(後) (R114)	首藤	情報-113			
	○ 物理化学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅴ分子物性化学)(後) (R163) (R164)	城丸	11-101	物性物理学Ⅱ(後) (R111)	松田	11-102	① 科学英語特論(前b) (R139) ○ (R140)	森	8-304									
							① 物理化学特別講義Ⅰ(物理実験学特論C)(後a) (R161) ○ (R162)	田沼	8-301									
							① 物理化学特別講義Ⅰ(物理実験学特論D)(後b) (R159) ○ (R160)	東	8-300									
木				① 物理化学特別講義Ⅰ(物質科学Ⅲニマム特論)(前a) (R110) ○ (R113)	真庭	8-301	原子核物理学(前) (R105)	慈道	11-202									
				一般相対論(前) (R101)	ケトフ	11-201	① 原子核ハドロン物理学特論(後a) (R125) ○ (R126)	慈道	8-301									
				① 物理化学特別講義Ⅰ(ソフトマター物性特論Ⅰ)(後a) (R151) ○ (R152)	栗田	8-302	① 非線形物理学特論(後a) (R141) ○ (R142)	首藤	8-300									
				○ 物理化学特別講義Ⅱ(化学特別講義Ⅱ分光化学)(前) (R169) (R170)	竹川・未定	11-202	① 電子物性特論(後a) (R149) ○ (R150)	青木	8-304									
金				場の理論(前) (R103)	ケトフ	11-201	統計物理学(前) (R102)	服部	11-201									
				宇宙物理学(後) (R107)	石崎	11-202	① 宇宙物理学特論(前a) (R127) ○ (R128)	江副	8-301									
				○ 情報数理科学特論(後) (R001) (R002)	内山	11-102	① 高エネルギー宇宙物理学特論Ⅰ(後a) (R131) ○ (R132)	政井	8-301									
土																		
その他	<p>物理学特別セミナーⅠ～Ⅳ、物理学特別実験Ⅰ～Ⅳ、物理学特別演習Ⅰ～Ⅳは博士前期課程対象。前・後期開講であるが、通年開講ではなく、いずれか半期のみである。授業番号は次のとおり。 物理学特別セミナーⅠ (R173)、物理学特別セミナーⅡ (R174)、物理学特別セミナーⅢ (R175)、物理学特別セミナーⅣ (R176)、物理学特別実験Ⅰ (R177)、物理学特別実験Ⅱ (R178)、物理学特別実験Ⅲ (R179)、物理学特別実験Ⅳ (R180)、物理学特別演習Ⅰ (R181)、物理学特別演習Ⅱ (R182)、物理学特別演習Ⅲ (R183)、物理学特別演習Ⅳ (R184)</p> <p>物理学特別実験Ⅴ～Ⅷ、物理学特別演習Ⅴ～Ⅷは博士後期課程対象。前・後期開講であるが、通年開講ではなく、半期のみである。授業番号は次のとおり。物理学特別実験Ⅴ (R185)、物理学特別実験Ⅵ (R186)、物理学特別実験Ⅶ (R187)、物理学特別実験Ⅷ (R188)、物理学特別演習Ⅴ (R189)、物理学特別演習Ⅵ (R190)、物理学特別演習Ⅶ (R191)、物理学特別演習Ⅷ (R192)</p>																	
集中授業	① 物理学特論Ⅰ ○ 物理学特論Ⅱ			① 物理学特別講義Ⅰ ○ 物理学特別講義Ⅱ			放射線実験法Ⅰ(前) (R005) ○ (R006)			① 理工学特別講義Ⅰ ○ 理工学特別講義Ⅱ			○	○	○	○	○	○
授業	① 素粒子物理学特論(後期) (R097) ○ (R098)	安田		① 物理化学特別講義Ⅰ ○			① 放射線実験法Ⅱ(前) (R007) ○ (R008)			① 理工学特別講義Ⅰ ○ 理工学特別講義Ⅱ			○	○	○	○	○	○
	① 磁性物理学特論(後期) (R123) ○ (R124)	*上田					① 理工学特別講義Ⅰ ○ 理工学特別講義Ⅱ			○			○	○	○	○	○	○

注意: 特別セミナー、特別実験、特別演習のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは博士前期課程1, 2年を、Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷは博士後期課程1, 2年を対象とする。

○印は博士後期課程の授業

前期a: 4月11日～5月23日(月)、4月12日～6月1日(火・水)、4月7日～5月26日(木)、4月8日～5月20日(金) 前期b: 5月30日～7月11日(月)、6月7日～7月20日(火・水)、6月2日～7月14日(木)、5月27日～7月15日(金) 試験期間: 7月25日～8月5日

①は1単位の科目

後期a: 10月3日～11月21日(月)、10月4日～11月15日(火)、10月5日～11月25日(水・木・金) 後期b: 11月28日～1月30日(月)、11月22日～1月17日(火)、11月30日～1月27日(水・木・金) 試験期間: 1月31日～2月13日

Department of
PHYSICS
物理学コース
物理学専攻

ホーム

研究

教育

入試

教員・研究室

アクセス



About us

ようこそ、物理学コース / 物理学専攻へ

物理学の目的は自然界の基本法則を探り、その知識と結果を科学、工学、技術の諸分野に応用することにあります。本コース・専攻は、ミクロな素粒子物理学から、身近なスケールの固体物理、そしてマクロなスケールの宇宙物理学まで、幅広い研究分野を網羅しており、多彩で新しい物理学の研究テーマに取り組んでいます。それぞれの研究室は互いに協力し合い、また、他のコース・専攻や国内外の研究機関とも連携して精力的に研究を進めています。

最新情報

慈道大介准教授が平成27年度「科研費」審査委員として表彰されました。詳細は[こちら](#)。(2015.12.9)

原子物理実験研究室博士前期課程2年の河野直子さんが「TMU E-ringを用いた炭素クラスター負イオンC₄⁻のレーザー合流実験II」の発表で日本物理学会領域1・[第4回学生プレゼンテーション賞](#)を受賞しました。

原子物理実験研究室博士前期課程2年の河野直子さんが「TMU E-ringを用いた炭素クラスター負イオンC₄⁻のレーザー合流実験II」の発表で日本物理学会領域1・[第4回学生プレゼンテーション賞](#)を受賞しました。(2015.10.26)

原子物理実験研究室博士前期課程2年の河野直子さんが[原子衝突学会国際会議発表奨励賞](#)を受賞し、XXIX International Conference on Photonic, Electronic and Atomic Collisions (ICPEAC 2015), July 22-28, 2015, Toledo, Spain において Electron radiative cooling of vibrationally hot C₄⁻ stored in an electrostatic ion storage ring というタイトルでポスター発表を行うための出張旅費支援(必要経費全額)を受けました。(2015.10.26)

2015年ノーベル物理学賞の対象となったニュートリノ振動について、首都大学東京が取り組む実験の紹介も交えながら、学部学生にも理解できるように、物理学専攻の教員がやさしく解説しました。解説で使用したスライドは[こちら](#)。(2015.10.15)

小林佑さん(ナノ物性研究室 博士前期課程2年)が「原子層半導体ヘテロ接合における導電性一次元界面」の研究で、フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会の[第13回若手奨励賞\(第49回フラーレン・ナノチューブ・グラフェン総合シンポジウム\)](#)を受賞しました。(2015.10.8)

所在地
東京都八王子市南大沢1-1

電話番号
042-677-1111 (代表)

首都大学東京大学院理工学研究科
物理学コース 物理学専攻

▶ 在学生へ

▶ 内部教員へ

Departm
PHYS
物理学
物理学

Department of
PHYSICS
物理学コース
物理学専攻

ホーム

ホーム

研究

研究

教育

教育

入試

入試

教員・研

教員・研究室

アクセ

アクセス

在学生へ

☞ [物理学教室「院生・学生相談室」の開設 \(2012年度～\)](#)

☞ [学部教務](#)

☞ [大学院教務 \(大学院集中講義開講予定一覧\)](#)

☞ [理工学研究科 教育改革推進事業 \(理工GP\) H2.3～「物質科学における大学院教育のグローバル化」](#)

☞ [H26年度 報告書](#) PDF

☞ [首都大学東京 教育改革推進事業 \(首都大GP\) H2.2 「物質科学における大学院教育の国際化の展開」](#) 外部リンク

☞ [就職情報のページ](#) 外部リンク (PWについては *.phys.se.tmu.ac.jp ドメインからは [こちらで確認](#))

所在地
東京都八王子市南

所在地
東京都八王子市南大沢1-1

電話番号
042-677-1111

電話番号
042-677-1111 (代表)

首都大学東京大学
物理学コース 物

首都大学東京大学院理工学研究科
物理学コース 物理学専攻

▶ [在学生へ](#)

▶ [在学生へ](#)

▶ [内部教員へ](#)

▶ [内部教員へ](#)

大学院教務

2016年度 (平成28年度) 大学院教務関係行事 (学部教務は[こちら](#))[物理教室理論図書室図書一覧](#)[物理教室所有ビデオ教材一覧](#)[教室談話会](#)☑ 2016年度 [大学院集中講義開講一覧](#)

☑ 2016年度 大学院履修ガイダンス (4/1)

14:00～ (理工)、14:30～ (物理、11号館102室)、15:30～ (物理懇親会、イニシアティブスペース)、

[履修ガイダンス資料](#) PDF☑ 2016年度 [大学院時間割](#) PDF (3/16)[過去の教務関係行事](#) (アクセス制限あり)Departm
PHYS
物理学
物理学Departm
PHYS
物理学
物理学Department of
PHYSICS
物理学コース
物理学専攻

ホー

ホー

ホーム

研究

研究

研究

教育

教育

教育

入試

入試

入試

教員・研

教員・研

教員・研究室

アクセ

アクセ

アクセス

所在地
東京都八王子市南所在地
東京都八王子市南所在地
東京都八王子市南大沢1-1電話番号
042-677-1111電話番号
042-677-1111電話番号
042-677-1111 (代表)首都大学東京大学
物理学コース 物首都大学東京大学
物理学コース 物首都大学東京大学院理工学研究科
物理学コース 物理学専攻

▶ 在学生へ

▶ 在学生へ

▶ 在学生へ

▶ 内部教員へ

▶ 内部教員へ

▶ 内部教員へ

Departn
PHYS
物理学
物理学

Departn
PHYS
物理学
物理学

Departn
PHYS
物理学
物理学

Department of
PHYSICS
物理学コース
物理学専攻



所在地 東京都八王子市南	所在地 東京都八王子市南	所在地 東京都八王子市南	所在地 東京都八王子市南大沢1-1
電話番号 042-677-1111	電話番号 042-677-1111	電話番号 042-677-1111	電話番号 042-677-1111 (代表)
首都大学東京大学 物理学コース 物	首都大学東京大学 物理学コース 物	首都大学東京大学 物理学コース 物	首都大学東京大学院理工学研究科 物理学コース 物理学専攻

▶ 在学生へ

▶ 内部教員へ

2016年度大学院集中講義開講一覧

問い合わせ先のメールアドレスは、@の後ろに phys.se.tmu.ac.jp を付け加えたものです。

物理学特別講義 I (1単位)

講師	神田展行 氏 (大阪市立大学理学研究科)
題目	重力波観測の基礎 (仮)
日時	H28年7月半ば頃
授業番号	未定
担当	住吉 (3364, sumiyoshi@)

物理化学特別講義 I (1単位)

講師	寺崎一郎 氏 (名古屋大学理学研究科)
題目	酸化物強相関電子系の機能性材料
日時	H28年7月19,20日
授業番号	未定
担当	青木 (3362, aoki@)

物理学特別講義 I (1単位)

講師	田中耕一郎 氏 (京都大学大学院)
題目	光物性物理学 (仮)
日時	夏頃
授業番号	未定
担当	柳 (3247, yanagi@)

物理学特別講義 I (1単位)

講師	保坂淳 氏 (大阪大学核物理研究センター)
題目	ハドロン物理ー基礎からエキゾチックな現象までー (仮)
日時	H28年12月7,8,9日
授業番号	未定
担当	保坂 (3370, hiroki@)

主な研究支援制度

● 学術振興会、文科省

-日本学術振興会特別研究員（博士課程、研究奨励金）

例年数名採用。修士2年の春に申請。研究業績が重要。

-トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム（海外派遣）

● 首都大

-大学院研究奨励奨学金（博士課程、奨学金）

学振不採用者から選抜。月15万円の奨学金。

-大学院研究支援奨学金（博士課程、奨学金）

全学の制度。学費の半分程度を支援。

-理工学研究科大学院生学術会議派遣（国際会議参加）

申請書を自ら書き研究をアピール。M1でも取得可能。

-大学院生国際学術会議派遣支援事業（博士課程、国際会議参加）

国際センターの制度。国際会議参加のための旅費を支援。

-派遣留学生経済支援制度（海外派遣）

3ヶ月以上6ヶ月未満の期間、海外の研究機関で研究を行う。M1も応募可能。

大学院生(修士・博士課程)のTA(Teaching Assistant)

1. 期間

平成28年度前期（4－9月）、後期（10－3月）

2. 仕事内容

物理学実験の指導補助、授業・演習の指導補助、試験監督など

3. 報酬

時給：1200円（修士）、1300円（博士）、1600円(STA)

STA（博士課程のみ）は高度な業務を含む

1 講義あたり45時間/半期。実験（週2コマ）は60時間/半期。

複数の講義を担当することもできるが、半期90時間が上限

4. 応募方法

毎年3月（前期分）と9月頃（後期分）にメールで募集。

**「物理学実験第一a」（水曜3・4限） 「物理学実験第三」のTA(STA)を募集中。
興味のある人は教務委員（慈道）まで。**

GPアシスタント（理工なんでも相談室 相談員）

業務内容：週2回（火曜5限、木曜昼休み、合計45時間）

学部学生（主に物理コース）の学業や大学生活全般についての相談や指導

勤務場所：8号館1階イニシアティブスペース

期間：前期15週分（後期分は別に募集します）

時給：修士学生 1200円、博士学生 1300円

応募人数：1または2名

締切：4月4日(月) 12:00

その他：支給金額は実際働いた時間になります

他のTAとの兼務は可能です（当然、勤務時間の重複は不可です）

興味のある人は森先生（mori@phys.se.tmu.ac.jp、8号館577室）まで

英語教育・グローバル化推進

- **【科学英語特論】**（1単位科目）

英語の読み書きに関する一般的注意点、科学英語特有のルールなど、覚えておくべき事項を紹介。演習の時間を設け、授業時間中にそれぞれの書いた英文を元に間違いやすい表現などを指摘していく。

- **【English Village】**

理系学生のグローバル化を促進するため、一般英語講座、外国人とのコミュニケーション講座、英語プレゼン講座、科学英語ライティング講座などを一年を通して企画。

- **【海外インターンシップ体験】**

English Villageの一貫として、一部の希望者のみに米国西海岸の企業や大学を訪問し、プレゼンや研究者インタビューなどを行う

- **【派遣留学生経済支援制度】**（前述）

海外研究機関での研究支援

学生のための相談室 学業や学生生活で相談したいことができれば。。。。

院生・学部生で研究活動、勉学、日常生活、人間関係などで困ったり、悩んだりしている事がありましたら、遠慮なく相談して下さい。
もちろん、相談内容は相談室以外で知らされることはありません。

- 物理学教室「院生・学生相談室」(H28年度担当：森・青木)

`counselor@phys.se.tmu.ac.jp`

- 学生相談室（専門家による無料相談）

http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html

- セクシャル・ハラスメント及びアカデミックハラスメント相談窓口

<http://www.houjin-tmu.ac.jp/harrassement/contact.html>

学生相談室のホームページより

http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html

相談の内容については、秘密を固く守り、プライバシーの保護をいたします。

安心してご利用ください。

こんなときに利用してください

◆ 学生生活について

- ・ 大学・大学院に馴染めない
- ・ サークルでのトラブル
- ・ 思うように勉強が進まない

◆ 進路・就職について

- ・ 将来のことで悩んでいる
- ・ 就職活動がうまくいかない

◆ 対人関係について

- ・ 友人関係や恋愛での悩み
- ・ 家族について話したいことがある

◆ 健康について

- ・ 食事のこと（食べられない、食べ過ぎる）
- ・ 睡眠のこと（眠れない、寝すぎる、悪夢を見る）
- ・ 体と心に違和感がある

◆ 自分のことについて

- ・ 自分について自信が持てない
- ・ 自分の性格が気になる
- ・ やる気が起きない、気持ちに浮き沈みがある
- ・ イライラすることが多い

その他、どんなことでもかまいません。

「気になること」があるとき、どうぞ学生相談室を訪ねてみてください。

物理図書室の利用について

物理図書室： 8号館5階520号室

和書、洋書が多数保管されています。

無人管理のため、皆さんの信頼に基づいて運営されています。

しかし、毎年本が紛失し、困っています。

!!!重要!!!

- ・必ず備え付けのPCにより貸し出し手続きをすること。
- ・返却を必ずすること。（とくに卒業時！）

理論図書室の使い方説明会

部屋番号
と時間をメモ
して！

8号館5階520号室

本日17:00集合！

(すでに説明を受けたことのある人は参加しなくてもよい)

都合により欠席する人は、
指導教員や研究室の学生などに
図書の貸出・返却方法を後日聞いて下さい。

学生教育研究災害傷害保険(学研災)

(保険に必ず入りましょう)

この保険は、教育研究活動中(正課・学校行事・課外活動及び通学中)の災害に対する補償制度で、急激かつ偶然な外来の事故による身体の傷害に対して保険金が支払われます。

南大沢キャンパスでは、加入手続きを学生サポートセンター学生課で随時受け付けています(任意加入)。

学生課窓口に設置してあります、学研災の「ごあんない」、あるいは(公財)日本国際教育支援協会のホームページに、本保険に関する重要な事項が掲載されています。加入に際しては、必ず確認の上、手続きして下さい。

財団法人日本国際教育支援協会

保険期間 学部生・大学院生

1年 1,000円

2年 1,750円

3年 2,600円

4年 3,300円

必ず入ってください!

本日予定

1. **ガイダンス** (14:30-15:30)
2. **懇親会** (15:30-16:30頃まで 8号館交流スペース)
全員で移動！！
教員の紹介、新入生の自己紹介
3. **理論図書室の説明会**
(17:00集合-17:15頃まで 8号館5階520号室)